

だいいちだより

14号

<http://www.mctv.ne.jp/~iti2es> E-mail: iti2es@mctv.ne.jp TEL 0598-21-0254

「学校アンケート」へのご協力ありがとうございました

世界中を揺るがしている新型コロナウイルス感染症対策をとることで、学校行事や子どもたちの活動が縮小や中止を余儀なくされた今年度。そうした中でも実施できるものはできる限りの対策をとり縮小のかたちではあっても実施できたことは、保護者の皆様のご理解・ご協力あってのことと感謝申し上げます。ありがとうございました。

今年度はこのような状況のもと、子どもたちの学校での様子を見ていただく機会が少なくなりましたが、アンケートへの回答にご協力いただきありがとうございました。

児童アンケートでは、多くの項目で90%以上の肯定的回答がありました。とくに「(5) 友だちを大事にしている(肯定的回答98%)」「(7) 地震や火災がおきたとき自分がどうすべきかわかっている(肯定的回答98%)」は子どもたちの強みと言えます。一方、さらに子どもたちが元気に楽しく学校生活を送るために、「(6) 学校の授業はよくわかる(肯定的回答90%)」「(11) 困ったことを相談できる友だちがいる(肯定的回答87%)」「(12) 困ったことを相談できる先生がいる(肯定的回答86%)」については、現況を振り返り、授業改善や学び合う学級づくりをしっかりと進めていきたいと思えます。保護者アンケートでも、児童アンケートと同様に「(5) お子さんは友だちや他人を大切にしている(肯定的回答96%)」「(7) 学校は防災訓練や子どもたちの安全を考えた教育をしている(肯定的回答96%)」については肯定的回答率が高くなっています。また、コロナ禍が今後も続いていくであろうと考えると、「(3) 運動会や文化祭などの学校行事は子どもたちが活動し充実している(肯定的回答89%)」については、子どもたちが活躍し輝けるよう、行事等の持ち方・内容の検討を十分していきたいと思えます。「(6) お子さんは学校の授業が分かりやすいと言っている(肯定的回答86%)」については、分かる授業・楽しい授業をめざし継続して授業改善に取り組んでいきます。

今後も子どもたちの状況をしっかり把握し、次年度の学校教育に繋げていきたいと考えています。引き続きご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。(アンケート結果につきましては、裏面に付けさせていただきます。)

なお、学校アンケートや校内評価については、学校関係者評価委員会でも外部評価をしていただきましたので、以下にそのご意見を紹介させていただきます。

・コロナ禍で、児童や保護者の心配があるであろう。今後の教育活動をどう進めていくべきか検討が必要である。また、伝統的に続いてきている龍神太鼓などは誇るべき取組である。繋げてきていることを大事にしてほしい。

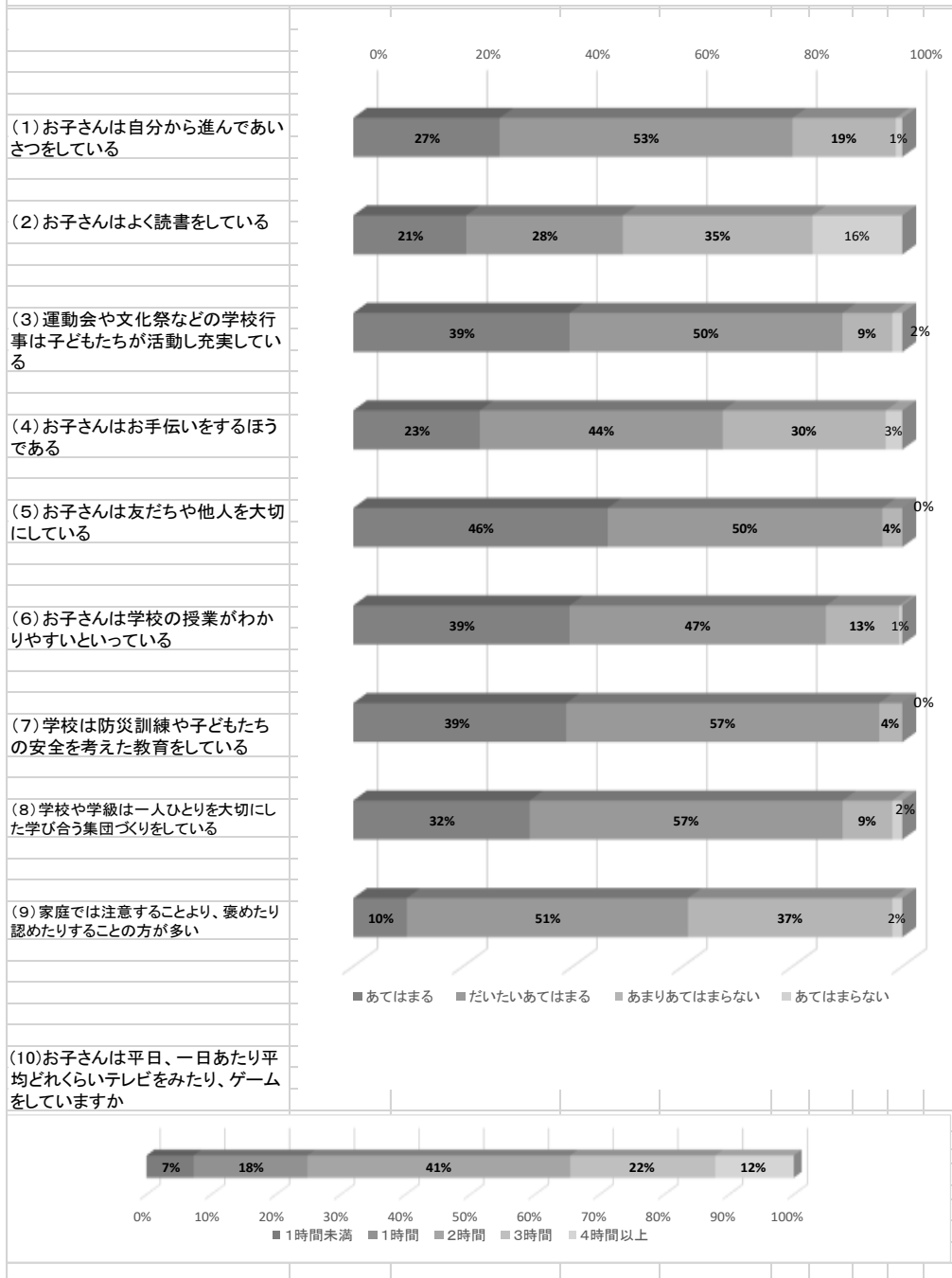
・児童アンケートの「学校の授業はよくわかる」は、一番基本で大切なことである、子どもたちの学力面、特に、分かりにくいと回答している子どもたちを、きめ細かにみていく必要がある。常に立ち返りたいところである。「学校の授業がよくわかる」ようになれば、「学校は楽しい」につながる。

・児童アンケート「困ったことを相談できる友だちがいる」「困ったことを相談できる先生がいる」は肯定的回答の割合は高いが、あてはまらないとする回答があることに注目していかねばならない。相談できるなかまづくりや先生との関係づくりを推進していくことが大切である。

・これからの新型コロナウイルス感染症はどのような状況となるのか予測はつかないが、コロナ禍は続くであろう。このような時だからこそ、なかまと人権を大切にする教育が一番大切である。子どもたちの人権意識を高められるよう、自分たちが何ができるか気づけるよう、教育活動の中で工夫・改善が必要である。子どもたちは私たち大人をみて育っていくことも忘れてはならない。

・行事の縮小・中止はとても残念で、子どもたちの様子が伝わらない不安感もあるであろうが、今は、子どもたちを守るための対策と理解していきたい。

2020年度 保護者アンケート結果



2020年度 児童アンケート結果

